

国登録有形文化財
桜櫓館
(旧桜場家住宅)



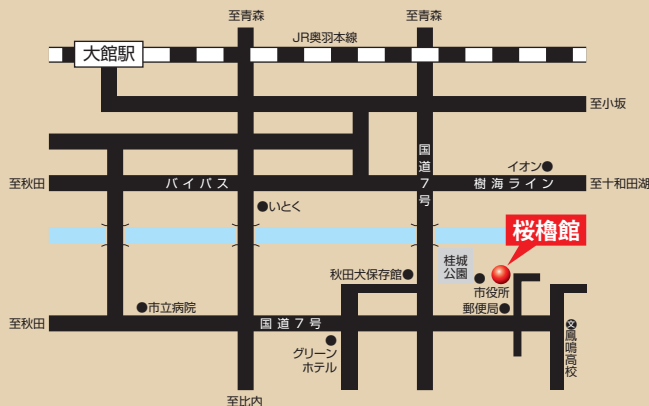
見学案内

- 休館日 毎週月曜日
(祝日の場合開館し翌日火曜日休館)
年末年始……12月29日～1月3日
- 公開時間 4月～10月：午前10:00～午後5:00
11月～3月：午前10:00～午後4:00
- 入館料金 無料
- 貸館料金 大広間：1時間あたり220円
和室・洋室・予備室：1時間あたり110円
- 交通 大館市役所に隣接

桜櫓館概要

- 名称 国登録有形文化財 桜櫓館
- 所在地 秋田県大館市字中城13-3
- 登録年月日 平成11年7月8日
- 設計 小野 熊蔵・石田 常吉
- 棟梁 越後 甚吉
- 施工期間 約2年(昭和6年6月施工・昭和8年1月3日棟上)
- 構造 和風住宅木造2階建(展望台付)
延床面積 310.26㎡
- 所有者 大館市

ご案内図



▲江戸時代「大館城」の地図に「桜櫓館」位置を示す

桜櫓館 〒017-0891 秋田県大館市字中城13-3
TEL(0186)42-0319

お問い合わせ 〒017-0044 秋田県大館市御成町三丁目6-31
大館市建設部まちづくり課
TEL(0186)43-7135

旧桜場文蔵邸 桜櫓館の愛称



桜櫓館は大館市、市政施行前の最後の町長を務めた桜場文蔵氏の私邸でした。

旧大館城の跡地で桜の名所である桂城公園に隣接している事から、また桜場邸から文字を取った「桜」。そして2階の屋根に突き抜けるように設けられた展望台の「櫓」。この2つを組み合わせて命名されました。

また、「館」は大館市の館にも通ずるものがあり、この桜櫓館が大館のシンボルとして末長く市民に愛されるようにとの願いが込められています。

建物の特徴



●建物の特徴としては、2階の屋根に突き出るように四方にガラス窓を配し、袴腰とした屋上展望台を作った事にあります。

桜場氏が町長選に出馬したときは、まだ工事の最中でした。その後町長に初当選した桜場氏は「この展望台から一人眼下の町を一望しながら、町政に思いを巡らせた」といわれています。

建物は京間(一間6.3尺=約1.910m)の造りで、普通の部屋より一回り広く造られています。

この建物の見どころ

- ☆1階正面が入母屋造、背面が切妻造、そして寄せ棟造、武家屋敷に見られる格式の高い「起り破風(ムクリハフ)」のついた玄関
- ☆玄関から東西広縁に通じるケヤキの床板、大梁(共に12.3m)
- ☆長尺の長押し、鴨居、軒桁等全て天然秋田杉
- ☆黒漆塗の華頭窓
- ☆槐の(魔除けの木)と言われる角床柱

桜櫓館は、大館旧市街地が度重なる大火に見舞われながらも奇跡的に残る、市街地では数少ない昭和初期の本格木造建築として貴重な存在です。

時代が薫る、優美な佇まい。



① 1階和室の付書院。「干網」のやわらかな曲線の絵柄を描いたガラス障子。



桜櫓館
Oro-kan



③ 1階縁側。長さ12.3mのケヤキの梁と2枚組合せの床板が圧巻。



⑤ 2階和室の障子。富士山と「干網」の図柄が見事に調和され、1階の書院ガラス障子と共に際立って美しい。



② 1階和室。3部屋（合計32.5畳数の通し間）。



④ 2階和室。床の間の円窓。



⑥ わざと狭く作られている展望台への階段。